

# ASEAN・インド月報

(2015年1月)

## 【目次】

■ASEAN・インドのマクロ経済動向	
インドネシア	1
マレーシア	2
フィリピン	3
シンガポール	4
タイ	5
ベトナム	6
インド	7
■ASEAN・インドの主要経済指標	
インドネシア	8
マレーシア	8
フィリピン	8
シンガポール	9
タイ	9
ベトナム	10
インド	10
■アジア各国の主要経済指標	11
■アジア新興国データ	13

経済調査室

## 1. インドネシア

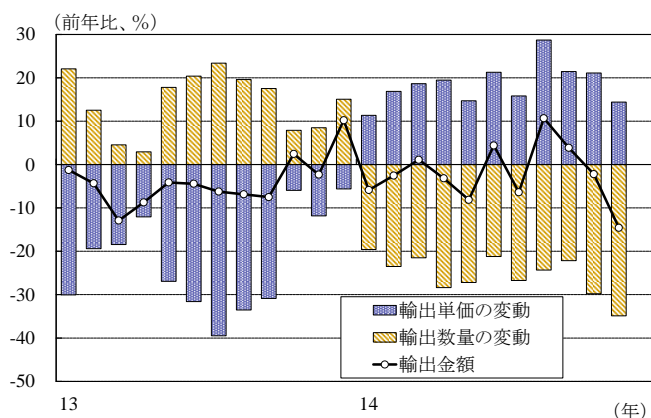
### 11月の貿易収支は▲4.3億ドルと再び赤字へ

11月の貿易収支は▲4.3億ドルと、10月に3ヵ月ぶりの黒字を記録したのち、再び赤字に転じた。輸出が前年比▲14.6%と2年3ヵ月ぶりの大きさを減少したことが主因。輸出は1月以降、未加工鉱石の輸出規制の影響や中国をはじめとした海外での需要の伸び悩みにより、主に数量減を主因に落ち込んできた。2015年1月には輸出規制強化の影響が一巡する一方、中国向けの資源輸出の伸び悩みに加えて、折からの資源安が今度は価格面から輸出の重石となるとみられ、貿易収支もしばらくは小幅赤字が続く公算が大きい。

### 2015年1月からガソリンとディーゼル燃料の補助金制度が変更

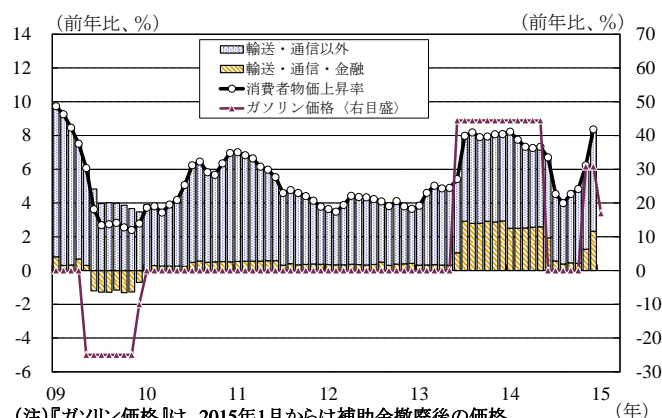
2014年12月31日、インドネシア政府は2015年1月から適用するガソリンとディーゼル燃料に関する新たな燃料補助金制度を発表した。ガソリンについては補助金を廃止、今後は国際石油市況に連動する形で値決めする。ディーゼル燃料については、補助金は残しつつも補助金支払を1リットル当たり1,000ルピアに固定、市場価格が変動した際には連動して小売価格が上下動する仕組みを導入する。今回の措置が適用された1月以降も原油安の影響で、1リットル当たりのガソリン価格は適用前の8,500ルピアから7,600ルピア(▲10.6%)へ、ディーゼル燃料は7,500ルピアから7,250ルピアへ(▲3.3%)其々低下している。政府は11月にガソリンとディーゼル燃料の補助金を削減し、小売価格を大きく引き上げた。これによりインフレ率は12月には前年比+8.4%まで加速、個人消費への影響が懸念されたが、小売価格を市況連動とする今回の措置で消費者はむしろ原油安の恩恵を享受できることとなった。財政面でも一連の改革で約200兆ルピア(名目GDP比2%程度)の補助金抑制が見込まれるが、政府はこの大部分をインフラ投資へ充当する旨を表明している。改革後の補助金支出やインフラ予算が盛り込まれた2015年度の補正予算案は、1月第2週のうちに議会に提出される見込みとなっている。

第1図：数量・単価別に見た輸出増減



(資料)CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：消費者物価上昇率とガソリン価格



(注)『ガソリン価格』は、2015年1月からは補助金撤廃後の価格。  
(資料)CEIC、各種報道より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室 シンガポール駐在)

## 2. マレーシア

### 10月の鉱工業生産指数は前年比+5.0%へ小幅鈍化

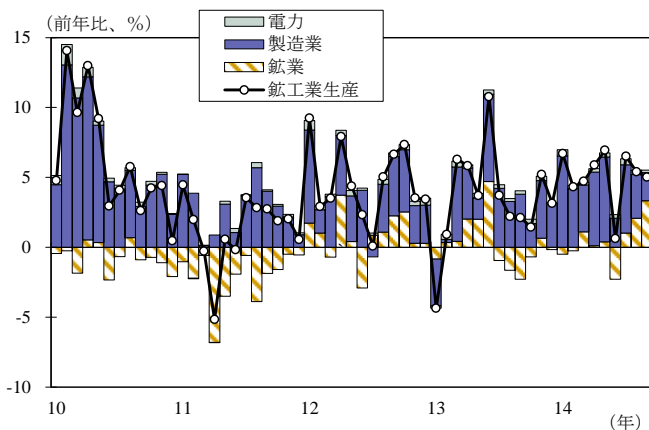
10月の鉱工業生産指数は、前年比+5.0%と9月の同+5.4%から小幅ながら鈍化した。鉱業が前年同月の落ち込みの反動もあり原油を中心に同+11.5%（9月：同+7.1%）へ加速した一方、生産全体の3分の2を占める製造業が同+3.0%（9月：同+4.7%）へ鈍化し、全体を押し下げた。製造業の内訳をみると、石油・化学・ゴム・プラスチック製品（同+3.6%）や食品・飲料・タバコ（同+6.8%）は持ち直しに転じたものの、主力のエレクトロニクス（同+1.9%）や非金属鉱物・基礎金属（同+3.7%）の減速が続いたほか、輸送機器（同▲5.6%）は前年割れとなった。今後、鉱工業生産は、食品や建設関連など内需部門は底堅さを維持するとみられるが、世界経済の先行き不透明感の強まりや資源価格の下落など外部環境の厳しさが増すなか、エレクトロニクスや石油関連など外需部門からの下押しが懸念される。

### 1-9月期の投資額、前年比+9.1%と堅調

12月8日、マレーシア投資開発庁（MIDA）は、1-9月期の投資額（認可ベース）が1,723億リンギ（前年比+9.1%）に達したと発表した。内訳は、国内投資が1,198億リンギ（全体の69.5%）、外国投資が525億リンギ（同30.5%）。セクター別の伸びをみると、不動産関連を中心とするサービス業は966億リンギ（同▲7.6%）、石油ガス関連が大半を占める第一次産業が122億リンギ（同▲33.7%）といずれも前年を下回ったものの、製造業が635億リンギ（同+81.4%）と大きな伸びを示した。製造業投資は1-9月期の認可額が2013年通年の521億リンギを既に上回っており、ムスタバ貿易産業相は2014年通年では700億リンギを超えて過去最高となるとの見通しを示した。

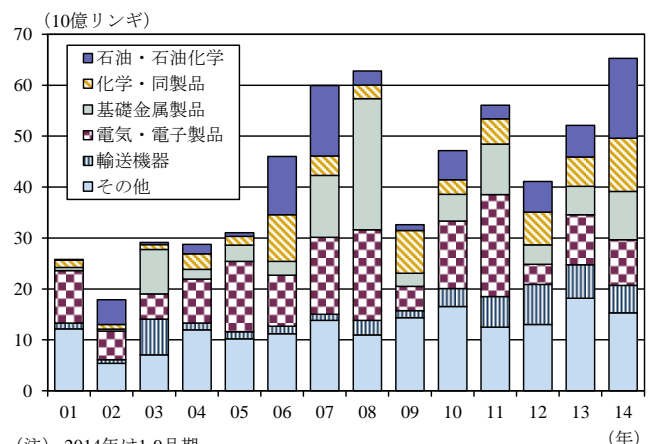
州別では、ジョホール州が201億リンギとトップだったが、国営石油会社ペトロナスが足元の原油価格の下落を受け同州での石油精製・石油化学プロジェクト（RAPID）の建設計画の一部見直しを示唆しており、今後の動向には留意を要しよう。

第1図：鉱工業生産



(注) 2012年以前は2005年基準、2013年以降は2010年基準。  
(資料) CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：製造業投資認可額



(注) 2014年は1-9月期。  
(資料) マレーシア投資開発庁資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室 シンガポール駐在)

### 3. フィリピン

#### 12月の消費者物価上昇率は4ヵ月連続で鈍化

12月の消費者物価上昇率は前年比+2.7%と4ヵ月連続で鈍化した。内訳をみると、7月の台風被害の影響で高めの伸びが続いていた食品価格（同+5.5%、11月：同+6.5%）の鈍化に加え、国際原油価格の下落などを受けた住居・光熱費（同▲1.6%、11月：同+0.3%）や輸送費（同▲1.0%、11月：同+0.2%）の下落など、多くの品目で伸びが鈍化、もしくは下落した。一方で教育（同+5.1%、11月：同+5.1%）は通年で上昇を続けている。

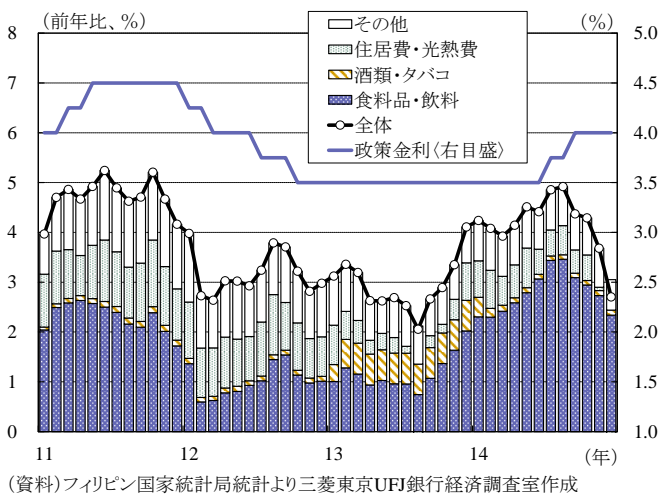
中銀は12月11日の金融政策委員会会合で「インフレは管理可能な水準にある」として10月に引き続き2会合連続で政策金利を据え置いた。次回会合は2月12日に開催予定。今後中銀は、12月初旬の台風被害による影響や国際原油価格の他、4-6月期に予想される電力不足、米国金融出口戦略の影響なども踏まえて追加利上げの可否を慎重に見極めるとみられる。

#### 10月の輸出は9ヵ月連続で拡大

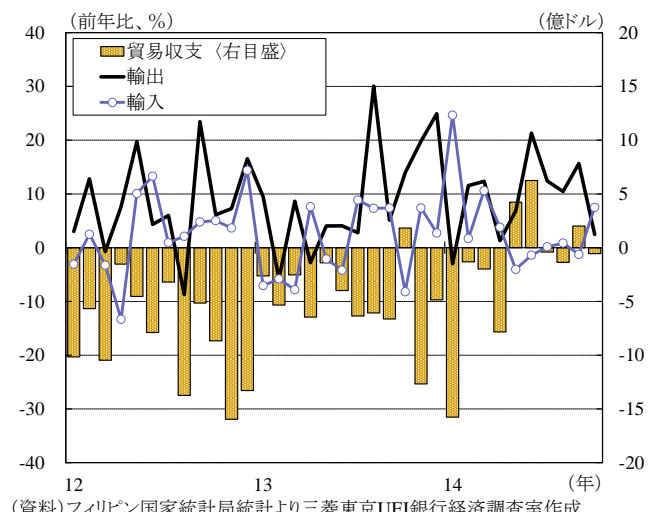
10月の輸出額は前年比+2.5%と9ヵ月連続でプラスの伸びを維持したものの、5ヵ月ぶりに一桁となった。品目別にみると、輸出全体の約4割を占める半導体などの電子製品（同+4.5%）が堅調さを維持した一方、鉱物（同▲7.7%）の低迷が続いた。国別にみると、最大シェアを占める日本（同+4.7%）向けや米国（同+7.5%）向けが拡大した一方、これまで好調であった中国（同▲6.1%）向けが7ヵ月ぶりに減少に転じた。

輸入は全体に占める割合の大きい資本財（同▲1.6%）や原材料（同▲0.8%）が減少幅を縮小させたことに加え、原燃料（同+18.7%）や消費財（同+35.8%）が9月に続き二桁の伸びを示し、同7.5%と増加に転じた。結果、貿易収支は▲1億ドルの赤字となった。

図表1：消費者物価上昇率と政策金利



図表2：貿易収支



(経済調査室)

## 4. シンガポール

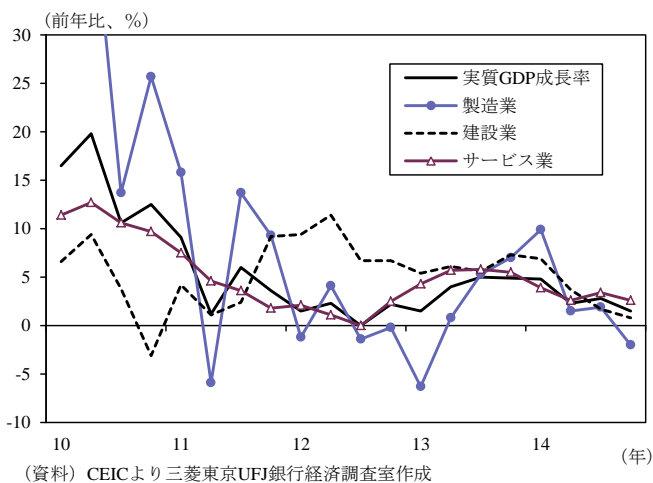
### 10-12月期の実質GDP成長率は前年比+1.5%に減速

10-12月期の実質GDP成長率（速報値）は前年比+1.5%と7-9月期の同+2.8%から減速した。前期比年率でも+1.6%と7-9月期の同+3.1%から鈍化した。産業別にみると、製造業が輸送エンジニアリングやエレクトロニクスの低迷を背景に前年比▲2.0%と7-9月期の同+1.7%から7四半期ぶりにマイナスに転じ、全体を押し下げた。加えて建設業も、民間住宅建設の需要低迷を主因に同+0.8%と7-9月期の同+1.3%から一段と減速した。一方、サービス業は同+2.6%と7-9月期の同+3.4%から伸びが低下したものの、相対的には高めの伸びとなり、全体を下支えした。2014年通年の成長率は、前年比+2.8%と2013年の同+3.9%から減速した。景気は2015年にかけて世界経済の緩やかな持ち直しを受けて回復基調を辿るとみられるが、外国人雇用規制強化が継続するなか国内の供給サイドの制約が重石となり、回復ペースは緩慢なものにとどまると予想される。

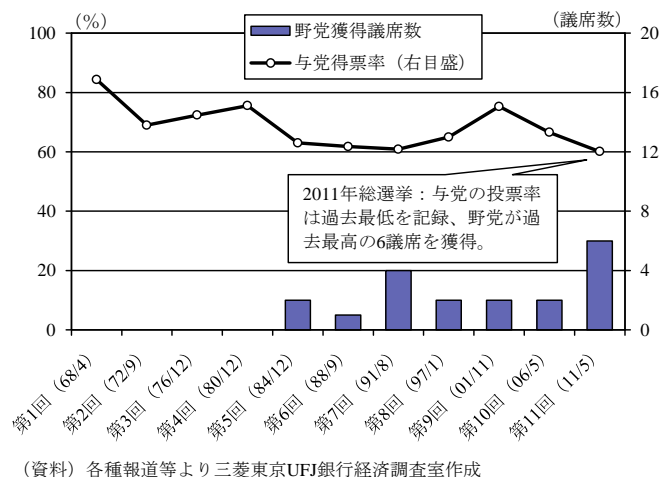
### 首相、党大会で演説、世代交代を示唆

12月7日、リー首相は与党人民行動党（PAP）の党大会で演説し、次期総選挙について「極めて厳しい戦いになる」との見方を示した上で、「全ての議席の獲得を目指す」と決意を表明した。首相後継者については、自身と同様に政治経験が20年未満での就任となるだろうとし、「次の選挙後のタームが終了する前に、より若く、情熱的かつ能力の高いチームが政権を担う準備ができていよう」と述べ、首相を含む世代交代を示唆した。新たな中央執行委員会メンバー（任期2年、12名）には、テオ副首相兼内務相、ターマン副首相兼財務相のほか、タン人材開発相が新たに選出された。同日、PAPは32年ぶりに党の規約を改定、リー首相はPAPの目指す方向性について、機会の平等、低所得層への支援拡充、努力と自立の3点を強調した。次期総選挙は2017年1月までに行われる予定だが、リー首相は同12日、次期総選挙の実施時期について、予想外の時期の実施もありうると述べた。

第1図：実質GDP成長率



第2図：与党得票率の推移



(経済調査室 シンガポール駐在)

5. タイ

**国家改革評議会（NRC）は新憲法骨子案を憲法起草委員会（CDC）に提言**

12月19日、国家改革評議会（以下NRC）は新憲法制定・総選挙に向けたスケジュールに沿い、新憲法の骨子案を憲法起草委員会（以下CDC）に提言した。骨子案には当初、首相と閣僚を直接選挙で選出する案が盛り込まれていたが、CDCは同月23日、これを却下した。その他の提言については検討を続けており、CDCは2015年4月までに起草案を作成、同年9月初旬までの制定を予定している。

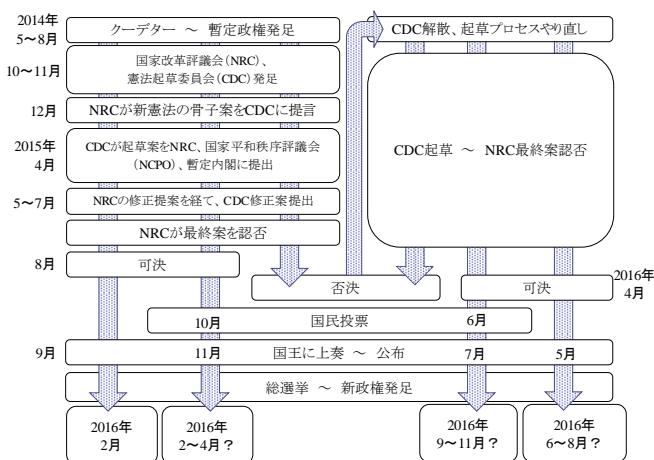
2014年5月のクーデター後全権を掌握した国家平和秩序評議会（NCPO）は同年6月、新憲法を2015年7月に公布し、同10月に総選挙を行うとしていた。しかし、暫定政権のウィサヌ副首相が「総選挙の実施は早ければ2016年2月になる」との見通しを明らかにするなど、当初の予定から遅れる可能性が高い。また、新憲法公布前の国民投票の要否が未定であること、仮に憲法案が否決となった場合はCDCを解散・再結成し再度起草プロセスのやり直しとなることなどから、今後の動向には留意が必要となる。

**11月の貿易収支は9ヵ月連続の黒字**

11月の輸出は前年比▲1.8%と、10月の同+4.1%からマイナスに転じた。品目別にみると、主力のエレクトロニクス（同+6.5%）や機械装置（同+5.7%）が引き続き堅調な伸びを示したが、石油製品（同▲34.6%）や天然ゴム（同▲43.0%）などは低迷が続いている。通年の輸出について、政府は「前年並みか同▲0.1%のマイナス成長」とこれまでの目標（同+0.05~0.5%）を下回る見通しを示した。

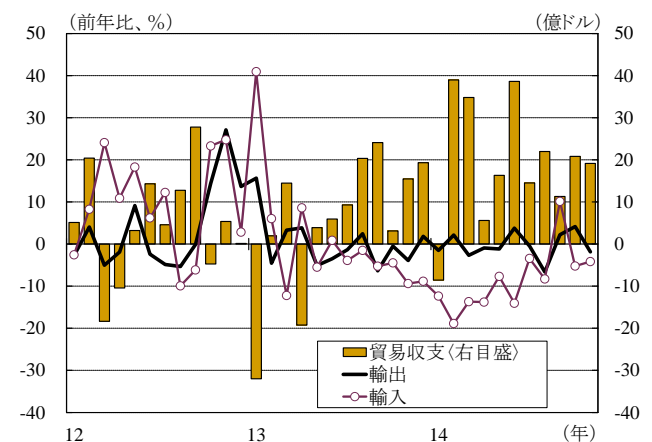
他方、輸入は原燃料等（同▲16.2%）や機械装置（同▲7.7%）などが全体を押し下げ、同▲4.2%と2ヵ月連続で減少した。この結果、11月の貿易収支は19億ドルと10ヵ月連続の黒字になった。

図表1：新憲法制定スケジュール



(資料) 各種報道より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

図表2：貿易収支



(注) USD建て、国際収支ベース。

(資料) タイ中央銀行統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室)

6. ベトナム

**10-12月期の実質GDP成長率は前年比+7.0%と加速、通年では政府目標を達成**

10-12月期の実質GDP成長率は前年比+7.0%と、7-9月期（同+6.1%）から伸びが加速した。2014通年では同+6.0%と政府目標の同+5.8%を上回った。通年の実質GDP成長率を産業別にみると、農林水産業は同+3.5%の伸びに止まったものの、輸出拡大を背景に製造業（同+8.5%）が堅調に伸びた。GDP全体に占める割合が大きいサービス業（同+6.0%）は2013年（同+6.6%）からは伸びが鈍化したものの、その内訳をみると不動産業（同+2.9%）が緩やかに持ち直したほか、情報通信（同+9.1%）や教育（同+7.4%）が高めの伸びを維持した。一方、5月以降の中越関係悪化を受けた外国人来訪者数の減少などにより、ホテル・レストラン（同+4.7%）は伸びが鈍化した。

政府は2015年の目標を同+6.2%としており、サービス業の持ち直しのため中華圏観光客減少を補うべくビザ免除対象国を拡大するなどの対策も検討しているが、その他伸び悩んでいる製造業以外の工業や農業などの加速も必要となろう。

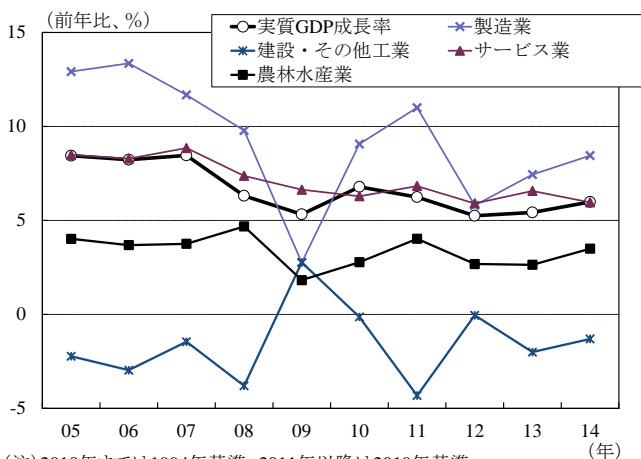
**12月の貿易収支は赤字も、通年では3年連続の黒字**

12月の輸出額は前年比+12.6%と3ヵ月ぶりに伸びが加速した。品目別にみると、スマートフォンなどの電話・電話部品（同+71.0%）と電子製品（同+55.4%）が前月に引き続き好調であった一方、原油（同▲28.6%）やゴム（同▲34.7%）、石炭（同▲64.2%）などの資源輸出は引き続き低迷しており二極化している。

輸入は同+14.9%と11月（同+16.4%）から伸びが鈍化した。主要品目の中では機械・部品（同+30.1%）や電子・電子部品（同+37.1%）などが大きく伸びた一方、石油製品（同▲40.9%）や肥料（同▲42.3%）が減少しており、こちらも二極化している。

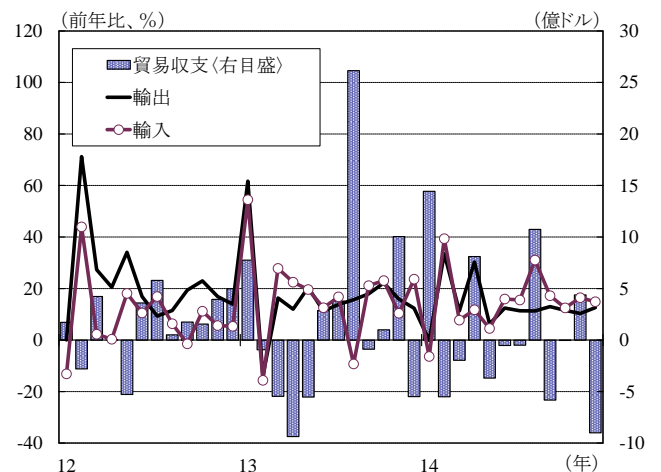
結果、12月の貿易収支は▲9億ドルの赤字となった。2014年通年の貿易収支は20億ドルと、3年連続で黒字となり、黒字幅は過去3年で最大となった。

図表 1：実質 GDP 成長率



(注) 2010年までは1994年基準、2011年以降は2010年基準。  
 (資料) ベトナム統計総局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

図表 2：貿易収支



(資料) ベトナム統計総局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室)

## 7. インド

### 11月の貿易収支は▲168.1億ドルと赤字幅は1年半ぶりの水準に拡大

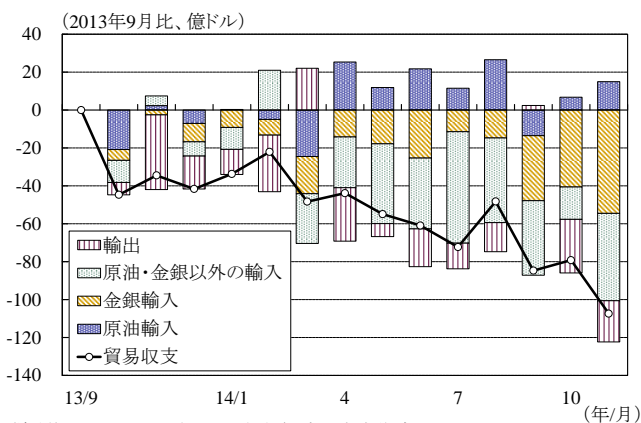
11月の貿易収支は▲168.1億ドルと前月の▲140.4億ドルから拡大、赤字幅は2013年5月以来、1年半ぶりの高水準となった。輸出は前年比+7.3%と2ヵ月ぶりにプラスに転じたものの、輸入が同+26.8%と高い伸びを示したため。

貿易赤字は2013年半ばから後半にかけて縮小傾向が続き、昨年9月には61.2億ドルまで縮小したが、その後は再び拡大傾向を辿っている。原油価格の下落の影響もあって原油輸入の減少が貿易赤字の縮小要因となる一方、輸入規制緩和によって金銀輸入が足元にかけて大きく拡大しているほか、景気の持ち直しを背景とした石炭や鉄、宝石類、通信機、プラスチック製品等を中心とする原油・金銀を除く輸入の急増も、貿易赤字の拡大要因として働いている。一方、輸出は米国やASEAN向けは底堅い伸びを維持しているものの、欧州向けの低迷が続いていることと、一頃は輸出全体を牽引していた中東・アフリカ向けが減少に転じたことで、増勢が弱まりつつある。

### 11月の消費者物価上昇率は減速傾向が継続

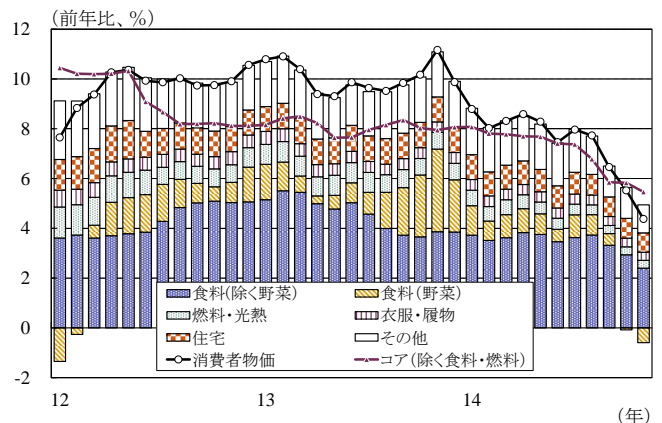
11月の消費者物価上昇率は前年比+4.4%と10月の同+5.5%から一段と低下した。2013年末にかけて急騰していた野菜が同▲10.9%と10月の同▲1.4%からマイナス幅を拡大させたほか、野菜以外の食料も伸びが一段と低下。原油安の影響もあり、燃料・光熱も鈍化が継続した。なお、食料と燃料を除くコアインフレ率も同+5.5%と前月の同+5.8%から鈍化する等、全般的にインフレ圧力は弱まりつつある。今後については、野菜を中心とした食品価格の安定が前提にはなるが、原油安を背景とした燃料価格の低下を主因にインフレ率は落ち着いた推移を続ける可能性が高い。こうした中、中銀は12月の会合で示唆した通り、インフレ率や経常収支の動向、政府の財政再建の取り組みを注意深く見ながら、2015年の早い時期に利下げに踏み切ると予想される。

第1図：貿易収支の変動要因



(資料)CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：消費者物価上昇率



(資料)CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室 シンガポール駐在)



## ■ ASEAN・インドの主要経済指標

## インドネシアの主要経済指標

	2012	2013	2014	14/1-3	4-6	7-9	10-12	14/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	877	871									
人口(100万人)	245.4	248.8	252.2								
1人あたりGDP(ドル)	3,573	3,500									
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.3)	(5.8)		(5.2)	(5.1)	(5.0)					
国内自動車販売(台)	1,116,230	1,229,901		328,519	313,550	290,871		102,709	105,356	91,268	
(前年比、%)	(24.8)	(10.2)		(11.0)	(2.4)	(▲5.0)		(▲11.4)	(▲6.0)	(▲18.4)	
消費者物価指数*(前年比、%)	(4.0)	(6.4)	(6.4)	(7.8)	(7.1)	(4.4)	(6.5)	(4.5)	(4.8)	(6.2)	(8.4)
輸出(FOB)(100万ドル)	190,032	182,552		44,299	44,526	43,882		15,276	15,349	13,616	
(前年比、%)	(▲6.6)	(▲3.9)		(▲2.5)	(▲2.5)	(2.3)		(3.9)	(▲2.2)	(▲14.6)	
輸入(CIF)(100万ドル)	191,691	186,629		43,231	46,723	44,421		15,546	15,328	14,042	
(前年比、%)	(8.0)	(▲2.6)		(▲5.3)	(▲4.2)	(▲3.3)		(0.2)	(▲2.2)	(▲7.3)	
貿易収支(100万ドル)	▲1,659	▲4,077		1,068	▲2,198	▲539		▲270	21	▲426	
経常収支(100万ドル)	▲24,418	▲29,102		▲4,157	▲8,689	▲6,836					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	108,837	96,364		99,340	104,375	108,095		108,095	108,950	108,145	
BI(政策)金利◎	5.75	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	7.75	7.50	7.50	7.75	7.75
為替(ルピア/ドル)*	9,388	10,449	11,868	11,835	11,623	11,764	12,249	11,903	12,143	12,170	12,434
株価指数◎	4,316.7	4,274.2	5,226.9	4,768.3	4,878.6	5,137.6	5,226.9	5,137.6	5,089.5	5,149.9	5,226.9

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)インドネシア中央銀行、CEIC、Bloombergなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## マレーシアの主要経済指標

	2012	2013	2014	14/1-3	4-6	7-9	10-12	14/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	305	313									
人口(100万人)	29.5	29.9	30.3								
1人あたりGDP(ドル)	10,343	10,458									
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.6)	(4.7)		(6.2)	(6.5)	(5.6)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(4.4)	(3.3)		(4.7)	(5.8)	(4.1)		(5.4)	(5.0)		
自動車販売台数(台)	627,753	655,791		159,910	173,232	159,163		47,771	54,187	55,313	
(前年比、%)	(4.6)	(4.5)		(1.4)	(11.2)	(▲8.8)		(▲13.1)	(▲1.6)	(5.9)	
消費者物価指数(前年比、%)	(1.7)	(2.1)		(3.5)	(3.3)	(3.0)		(2.6)	(2.8)	(3.0)	
輸出(FOB)(100万ドル)	227,570	228,288		56,964	59,436	59,366		20,055	19,900	19,038	
(前年比、%)	(▲0.3)	(0.3)		(3.5)	(8.6)	(3.0)		(3.0)	(▲6.0)	(▲2.4)	
輸入(CIF)(100万ドル)	196,423	206,023		48,982	53,728	54,107		17,155	19,549	15,714	
(前年比、%)	(4.7)	(4.9)		(▲1.4)	(3.0)	(4.2)		(2.1)	(6.0)	(▲4.3)	
貿易収支(100万ドル)	31,148	22,265		7,982	5,709	4,166		2,900	363	3,324	
経常収支(100万ドル)	17,704	12,601		6,016	4,947	2,379					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	137,784	133,444		128,722	130,376	125,884		125,884	126,731	124,297	
銀行間3カ月金利(%)◎	3.21	3.32	3.86	3.33	3.55	3.74	3.86	3.74	3.76	3.82	3.86
為替(リンギ/ドル)*	3.0888	3.1507	3.2726	3.2981	3.2347	3.1923	3.3654	3.2173	3.2689	3.3473	3.4799
株価指数◎	1,689.0	1,867.0	1,761.3	1,849.2	1,882.7	1,846.3	1,761.3	1,846.3	1,855.2	1,820.9	1,761.3

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値。鉱工業生産指数の2012年以前は2005年基準、2013年以降は2010年基準。

(資料)マレーシア中銀、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## フィリピンの主要経済指標

	2012	2013	2014	14/1-3	4-6	7-9	10-12	14/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	250	272									
人口(100万人)	96.5	98.2									
1人あたりGDP(ドル)	2,593	2,771									
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.8)	(7.2)		(5.6)	(6.4)	(5.3)					
製造業生産指数(前年比、%)	(7.0)	(5.4)		(2.8)	(10.8)	(5.5)		(5.6)	(7.2)		
国内自動車販売(台)(注1)	181,973	208,370		51,643	57,314	60,770		20,924	22,278	21,422	
(前年比、%)	(10.5)	(14.5)		(22.9)	(26.8)	(37.6)		(41.7)	(32.6)	(34.6)	
消費者物価指数(前年比、%)	(3.2)	(3.0)	(4.2)	(4.1)	(4.4)	(4.7)	(3.6)	(4.4)	(4.3)	(3.7)	(2.7)
輸出(FOB)(100万ドル)	52,100	56,698		14,315	15,496	16,785		5,849	5,151		
(前年比、%)	(7.9)	(8.8)		(6.9)	(9.7)	(12.9)		(15.7)	(2.5)		
輸入(CIF)(100万ドル)	62,129	62,411		16,221	15,231	16,762		5,648	5,207		
(前年比、%)	(2.7)	(0.5)		(12.4)	(▲0.5)	(▲0.1)		(▲1.2)	(7.5)		
貿易収支(100万ドル)	▲10,029	▲5,713		▲1,906	265	23		201	▲56		
経常収支(100万ドル)	6,951	10,391		764	3,004	3,036		1,283			
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	73,478	75,689		71,639	72,448	71,987		71,987	72,098	71,449	
TBレート金利◎	0.20	0.00	1.42	1.00	1.04	1.24	1.42	1.24	1.14	1.30	1.42
為替(ペソ/ドル)(注2)	42.23	42.45	44.39	44.87	44.13	43.77	44.81	44.08	44.80	44.95	44.68
株価指数◎	5,812.7	5,889.8	7,230.6	6,428.7	6,844.3	7,283.1	7,230.6	7,283.1	7,215.7	7,294.4	7,230.6

(注1)国内自動車販売の四半期、月次はフィリピン自動車工業会(CAMPTI)加盟分。暦年のみ現代アジア・リソース(HARI)、GMを追加。

(注2):期中平均、◎印:期末値。

(資料)フィリピン国家統計局、中央銀行、IMF、CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## シンガポールの主要経済指標

	2012	2013	2014	14/1-3	4-6	7-9	10-12	14/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	287	298									
人口(100万人)	5.31	5.40	5.47								
1人あたりGDP(ドル)	54,019	55,188									
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.5)	(3.9)	(2.8)	(4.7)	(2.3)	(2.8)	(1.5)				
製造業生産指数(前年比、%)	(0.3)	(1.7)		(9.6)	(1.3)	(1.8)		(▲1.0)	(▲0.2)	(▲2.8)	
実質小売売上高指数(前年比、%)	(1.3)	(▲4.4)		(▲3.0)	(▲5.4)	(4.2)		(4.8)	(7.8)		
消費者物価指数(前年比、%)	(4.6)	(2.4)		(1.0)	(2.4)	(0.9)		(0.6)	(0.1)	(▲0.3)	
輸出(FOB)(100万Sドル)	510,329	513,391		128,250	133,304	130,843		44,317	44,299	40,963	
(前年比、%)	(▲0.9)	(0.6)		(7.6)	(2.7)	(▲1.4)		(▲1.6)	(▲7.0)	(▲2.8)	
輸入(CIF)(100万Sドル)	474,554	466,763		117,801	120,185	114,340		38,745	40,060	34,267	
(前年比、%)	(3.2)	(▲1.6)		(6.8)	(3.0)	(▲5.7)		(▲5.1)	(▲5.3)	(▲11.1)	
貿易収支(100万Sドル)	35,775	46,629		10,449	13,119	16,503		5,572	4,239	6,696	
経常収支(100万Sドル)	62,672	68,265		16,874	18,012	22,170					
外貨準備高(除く金)(100万\$)	259,094	272,864		272,735	277,761	265,927		265,927	264,155		
SIBOR3カ月(Sドル、%)◎	0.38	0.40	0.46	0.41	0.40	0.41	0.46	0.41	0.41	0.43	0.46
為替(Sドル/USドル)*	1.249	1.251	1.267	1.269	1.253	1.252	1.296	1.264	1.275	1.296	1.317
株価指数◎	3,167.1	3,167.4	3,365.2	3,188.6	3,255.7	3,276.7	3,365.2	3,276.7	3,274.3	3,350.5	3,365.2

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)シンガポール統計局、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## タイの主要経済指標

	2012	2013	2014	14/1-3	4-6	7-9	10-12	14/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	366	388									
人口(100万人)	64.5	64.8									
1人あたりGDP(ドル)	5,684	5,982									
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.5)	(2.9)		(▲0.5)	(0.4)	(0.6)					
製造業生産指数(前年比、%)	(2.2)	(▲3.2)		(▲7.0)	(▲4.8)	(▲3.9)		(▲3.9)	(▲3.0)	(▲3.5)	
民間消費指数(前年比、%)	(5.6)	(0.3)		(▲1.6)	(▲0.8)	(0.3)		(1.3)	(▲0.3)	(0.7)	
自動車販売台数(台)	1,434,624	1,330,678		224,171	216,740	207,499		69,137	70,850	73,068	
(前年比、%)	(80.7)	(▲7.2)		(▲45.8)	(▲33.8)	(▲29.3)		(▲27.2)	(▲20.4)	(▲21.8)	
消費者物価指数(前年比、%)	(3.0)	(2.2)	(1.9)	(2.0)	(2.5)	(2.0)	(1.1)	(1.8)	(1.5)	(1.3)	(0.6)
失業率(%)	0.7	0.7		0.9	1.0	0.8		0.8	0.8	0.5	
輸出(FOB)(100万ドル)	225,875	225,409		55,573	55,887	56,934		19,580	19,830	18,236	
(前年比、%)	(3.1)	(▲0.2)		(▲0.8)	(0.6)	(▲1.7)		(2.2)	(4.1)	(▲1.8)	
輸入(FOB)(100万ドル)	219,860	218,748		49,054	49,835	52,154		18,449	17,748	16,322	
(前年比、%)	(8.8)	(▲0.5)		(▲14.8)	(▲11.8)	(▲0.8)		(10.1)	(▲5.2)	(▲4.2)	
貿易収支(100万ドル)	6,015	6,661		6,519	6,052	4,780		1,131	2,082	1,914	
経常収支(100万ドル)	▲1,470	▲2,452		8,226	▲387	▲526		▲540	2,628	1,664	
資本収支(100万ドル)	13,961	545		▲6,101	▲191	▲1,781		▲2,727	▲1,781		
対外債務残高(100万ドル)◎	130,747	141,933		139,964	144,772	143,487		143,906	144,463		
外貨準備高(除く金)(100万\$)◎	173,326	161,328		161,154	161,643	155,593		155,593	154,800	152,772	
翌日物レボ金利(%)◎	2.75	2.25	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
為替(バーツ/ドル)*	31.07	30.72	34.32	32.65	32.45	32.11	32.71	32.20	32.46	32.79	32.89
株価指数◎	1,391.9	1,298.7	734.5	1,376.3	1,485.8	1,585.7	1,497.7	1,585.7	1,584.2	1,593.9	1,497.7

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)タイ中央銀行、国家経済社会開発委員会、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## ベトナムの主要経済指標

	2012	2013	2014	14/1-3	4-6	7-9	10-12	14/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	156	171	186								
人口(100万人)	88.8	89.7	90.7								
1人あたりGDP(ドル)	1,755	1,909	2,052								
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.3)	(5.4)	(6.0)	(5.1)	(5.3)	(6.1)	(7.0)				
鉱工業生産(前年比、%)	(4.8)	(5.9)	(7.6)	(5.3)	(6.9)	(7.8)	(10.1)	(8.6)	(7.9)	(11.1)	(9.6)
国内自動車販売(台)	80,456	96,696		24,121	30,331	34,236		12,647	13,009	13,347	
(前年比、%)	(▲26.6)	(20.2)		(29.1)	(24.1)	(43.2)		(49.4)	(49.2)	(43.6)	
消費者物価指数(前年比、%)	(9.1)	(6.6)		(4.8)	(4.7)	(4.3)	(2.6)	(3.6)	(3.2)	(2.6)	(1.8)
輸出(FOB)(100万ドル)	114,529	132,033	150,042	33,277	37,857	38,822	40,398	12,634	14,068	13,230	13,100
(前年比、%)	(18.2)	(15.3)	(13.6)	(12.2)	(15.7)	(11.9)	(11.5)	(13.0)	(11.5)	(10.3)	(12.6)
輸入(CIF)(100万ドル)	113,780	132,033	148,058	32,579	37,467	38,379	40,864	13,216	14,072	12,792	14,000
(前年比、%)	(6.6)	(16.0)	(12.1)	(10.4)	(10.5)	(13.5)	(14.5)	(17.2)	(12.5)	(16.4)	(14.9)
貿易収支(100万ドル)	749	0	1,984	697	390	443	▲466	▲582	▲4	438	▲900
経常収支(100万ドル)	9,062	9,471		3,303							
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	25,573	25,894		33,754	35,799	36,822		36,822			
リファイナンスレートの◎	9.00	7.00	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50
政策金利◎	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
為替(ドン/ドル)*	20,873	21,030	21,199	21,094	21,158	21,218	21,324	21,207	21,257	21,340	21,378
株価指数◎	413.73	504.63	545.63	591.57	578.13	598.80	545.63	598.80	600.84	566.58	545.63

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)ベトナム統計総局、中央銀行、IMF、CEIC等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## インドの主要経済指標

	11年度	12年度	13年度	14/1-3	4-6	7-9	10-12	14/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	1,751	1,726	1,731								
人口(100万人)	1,221	1,237	1,252								
1人あたりGDP(ドル)	1,434	1,395	1,382								
実質GDP成長率(前年比、%)	(6.7)	(4.5)	(4.7)	(4.6)	(5.7)	(5.3)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(2.9)	(1.1)	(▲0.1)	(▲0.4)	(4.5)	(1.4)		(2.8)	(▲4.2)		
乗用車販売台数(台)	2,629,425	2,665,015	2,503,364	675,770	615,322	636,918		223,568	221,151	212,438	
(前年比、%)	(5.1)	(1.4)	(▲6.1)	(▲6.9)	(1.3)	(7.3)		(3.3)	(▲7.5)	(5.4)	
卸売物価指数(前年比、%)	(8.9)	(7.4)	(6.0)	(5.4)	(5.8)	(3.9)		(2.4)	(1.8)		
消費者物価指数(前年比、%)	(8.4)	(10.2)	(9.5)	(8.4)	(8.1)	(7.4)		(6.5)	(5.5)	(4.4)	
輸出(100万ドル)	305,964	300,401	313,994	82,310	78,901	81,766		28,378	25,303	25,961	
(前年比、%)	(21.8)	(▲1.8)	(4.5)	(▲0.8)	(7.4)	(1.8)		(0.9)	(▲7.9)	(7.3)	
輸入(100万ドル)	489,320	490,737	450,599	111,088	113,232	120,653		42,972	39,344	42,822	
(前年比、%)	(32.3)	(0.3)	(▲8.2)	(▲12.2)	(▲6.3)	(10.1)		(25.4)	(3.3)	(26.8)	
貿易収支(100万ドル)	▲183,356	▲190,336	▲136,604	▲28,778	▲34,331	▲38,887		▲14,594	▲14,041	▲16,861	
経常収支(100万ドル)	▲78,180	▲87,843	▲32,358	▲1,210	▲7,837	▲10,103					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)	271,285	270,587	276,493	285,032	298,024	296,204		296,204	298,473		
レポレート(%)◎	8.50	7.50	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
為替(ルピー/ドル)*	46.68	53.47	58.60	61.78	59.81	60.60	61.95	60.87	61.38	61.73	62.74
株価指数◎	17,404	18,836	22,386	22,386	25,414	26,631	27,499	26,631	27,866	28,694	27,499

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値。乗用車は、ユティリティ車、多目的車を含む。

(資料)RBI、中央統計局、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## ■ アジア各国の主要経済指標

### 1. 名目GDP(億ドル)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2006	3,645	1,627	1,222	1,478	2,071	665	8,737	27,129	1,935	3,767	10,118
2007	4,322	1,935	1,494	1,800	2,470	773	11,381	34,940	2,116	3,930	11,227
2008	5,127	2,308	1,742	1,922	2,726	991	11,531	45,195	2,193	4,002	10,022
2009	5,433	2,023	1,683	1,924	2,637	1,060	12,876	49,902	2,141	3,780	9,019
2010	7,100	2,475	1,996	2,364	3,189	1,160	15,910	59,305	2,287	4,303	10,945
2011	8,458	2,893	2,241	2,741	3,457	1,355	17,511	73,219	2,485	4,665	12,025
2012	8,769	3,050	2,502	2,869	3,660	1,558	17,256	82,295	2,626	4,763	12,228
2013	8,709	3,132	2,721	2,979	3,873	1,712	17,310	94,907	2,740	4,906	13,046
2014						1,862					

### 2. 人口(100万人)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2006	222.7	26.3	87.0	4.4	62.8	83.3	1,134.0	1,314.5	6.9	22.8	48.4
2007	225.6	27.1	88.7	4.6	63.0	84.2	1,150.0	1,321.3	6.9	22.9	48.6
2008	228.5	27.6	90.5	4.8	63.4	85.1	1,166.0	1,328.0	7.0	23.0	48.9
2009	231.4	28.1	92.2	5.0	63.5	86.0	1,182.0	1,334.5	7.0	23.1	49.2
2010	237.6	28.6	92.6	5.1	63.9	86.9	1,199.0	1,340.9	7.0	23.1	49.4
2011	242.0	29.1	94.8	5.2	64.1	87.8	1,221.2	1,347.4	7.1	23.2	49.8
2012	245.4	29.5	96.5	5.3	64.5	88.8	1,236.7	1,354.0	7.2	23.3	50.0
2013	248.8	29.9	98.2	5.4	64.8	89.7	1,252.1	1,360.7	7.2	23.3	50.2
2014	252.2	30.3	99.9	5.5		90.7					

### 3. 1人当たりGDP(ドル)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2006	1,636	6,180	1,405	33,579	3,296	798	770	2,064	28,124	16,504	20,917
2007	1,915	7,142	1,684	39,224	3,918	918	990	2,644	30,548	17,154	23,101
2008	2,243	8,363	1,926	39,722	4,300	1,165	989	3,403	31,507	17,400	20,475
2009	2,348	7,202	1,825	38,577	4,151	1,232	1,089	3,739	30,647	16,378	18,339
2010	2,988	8,658	2,155	46,569	4,992	1,334	1,327	4,423	32,489	18,596	22,151
2011	3,495	9,955	2,364	52,870	5,395	1,543	1,434	5,434	35,042	20,117	24,156
2012	3,573	10,331	2,593	54,007	5,678	1,755	1,395	6,078	36,647	20,472	24,454
2013	3,500	10,457	2,771	55,183	5,977	1,909	1,382	6,975	38,033	21,014	25,977
2014						2,052					

### 4. 実質GDP成長率(前年比、%)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2006	5.5	5.6	5.2	8.6	5.1	7.0	9.6	12.7	7.0	5.4	5.2
2007	6.3	6.3	6.6	9.0	5.0	7.1	9.3	14.2	6.5	6.0	5.5
2008	6.0	4.8	4.2	1.7	2.5	5.7	6.7	9.6	2.1	0.7	2.8
2009	4.6	▲ 1.5	1.1	▲ 0.8	▲ 2.3	5.4	8.6	9.2	▲ 2.5	▲ 1.8	0.7
2010	6.2	7.4	7.6	15.7	7.8	6.4	8.9	10.4	6.8	10.8	6.5
2011	6.5	5.2	3.7	6.1	0.1	6.2	6.7	9.3	4.8	4.2	3.7
2012	6.3	5.6	6.8	2.5	6.5	5.3	4.5	7.7	1.5	1.5	2.3
2013	5.8	4.7	7.2	3.9	2.9	5.4	4.7	7.7	2.9	2.1	3.0
13/1-3	6.0	4.2	7.7	1.5	5.4	4.8	4.4	7.7	2.9	1.4	2.1
4-6	5.8	4.5	7.9	4.0	2.9	5.0	4.7	7.5	3.0	2.7	2.7
7-9	5.6	5.0	7.0	5.0	2.7	5.5	5.2	7.8	3.0	1.3	3.4
10-12	5.7	5.1	6.3	4.9	0.6	6.0	4.6	7.7	2.9	2.9	3.7
14/1-3	5.2	6.2	5.6	4.7	▲ 0.5	5.1	4.6	7.4	2.6	3.2	3.9
4-6	5.1	6.5	6.4	2.3	0.4	5.3	5.7	7.5	1.8	3.7	3.5
7-9	5.0	5.6	5.3	2.8	0.6	6.1	5.3	7.3	2.7	3.8	3.2
10-12				1.5		7.0					

### 5. 消費者物価上昇率(前年比、%)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2006	13.1	3.6	5.5	1.0	4.6	7.5	6.8	1.5	2.0	0.6	2.2
2007	6.4	2.0	2.9	2.1	2.2	8.3	6.2	4.8	2.0	1.8	2.5
2008	9.8	5.4	8.2	6.6	5.5	23.1	9.1	5.9	4.3	3.5	4.7
2009	4.8	0.6	4.2	0.6	▲ 0.9	6.7	12.4	▲ 0.7	0.6	▲ 0.9	2.8
2010	5.1	1.7	3.8	2.8	3.3	9.2	10.4	3.3	2.3	1.0	2.9
2011	5.3	3.2	4.7	5.2	3.8	18.7	8.4	5.4	5.3	1.4	4.0
2012	4.0	1.7	3.2	4.6	3.0	9.1	10.2	2.6	4.1	1.9	2.2
2013	6.4	2.1	2.9	2.4	2.2	6.6	9.5	2.6	4.3	0.8	1.3
2014	6.4		4.2		1.9	4.1				1.2	1.3

(注) インドは年度(4月～翌年3月)ベース。

(資料) 各国統計、IMF、CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 6. 外貨準備高（除く金、億ドル）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2006	411	821	200	1,360	653	134	1,707	10,685	1,332	2,615	2,389
2007	550	1,010	302	1,627	852	235	2,670	15,303	1,526	2,656	2,622
2008	496	911	332	1,740	1,087	239	2,474	19,493	1,825	2,870	2,011
2009	636	954	388	1,876	1,355	164	2,652	24,160	2,558	3,434	2,699
2010	929	1,049	554	2,255	1,675	125	2,753	28,661	2,686	3,768	2,915
2011	1,065	1,318	673	2,375	1,674	135	2,713	32,028	2,853	3,805	3,043
2012	1,088	1,378	735	2,591	1,733	256	2,706	33,311	3,173	3,979	3,232
2013	964	1,334	757	2,729	1,613	259	2,765	38,396	3,111	4,117	3,417
13/12	964	1,334	757	2,729	1,613	259	2,765	38,396	3,111	4,117	3,417
14/1	975	1,317	716	2,713	1,606	291	2,734	38,846	3,121	4,119	3,436
2	994	1,292	722	2,738	1,616	300	2,757	39,320	3,158	4,129	3,470
3	993	1,287	716	2,727	1,612	338	2,850	39,661	3,168	4,141	3,495
4	1,023	1,297	718	2,750	1,626	359	2,924	39,968	3,176	4,164	3,511
5	1,039	1,295	725	2,759	1,614	357	2,939	40,015	3,201	4,165	3,561
6	1,044	1,304	724	2,778	1,616	358	2,980	40,108	3,208	4,183	3,618
7	1,073	1,303	726	2,734	1,631	361	3,011	39,842	3,249	4,185	3,632
8	1,080	1,305	728	2,731	1,612	370	2,999	39,864	3,312	4,179	3,627
9	1,081	1,259	720	2,659	1,556	368	2,962	39,050	3,257	4,156	3,596
10	1,090	1,267	721	2,642	1,548		2,985		3,254	4,164	3,589
11	1,081	1,243	714		1,528					4,165	3,583

## 7. 対ドル為替相場（期中平均）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2006	9,166	3,667	51.3	1,589	37.9	15,991	45.3	7.97	7.77	32.5	955
2007	9,142	3,436	46.1	1,507	34.5	16,084	41.3	7.61	7.80	32.9	929
2008	9,694	3,334	44.5	1,415	33.4	16,449	43.4	6.95	7.79	31.5	1,101
2009	10,396	3,524	47.6	1,454	34.3	17,805	48.4	6.83	7.75	33.0	1,276
2010	9,084	3,219	45.1	1,363	31.7	19,138	45.7	6.77	7.77	31.5	1,156
2011	8,772	3,059	43.3	1,257	30.5	20,663	46.7	6.46	7.78	29.4	1,108
2012	9,388	3,089	42.2	1,249	31.1	20,873	53.5	6.31	7.76	29.6	1,126
2013	10,440	3,150	42.5	1,251	30.7	21,030	58.6	6.15	7.76	29.7	1,095
2014	11,881	3,273	44.4	1,267	32.5	21,199	61.0	6.16	7.75	30.3	1,053

(資料) IMF、bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## ■ アジア新興国データ

### カンボジアの主要経済指標

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
名目GDP (10億ドル)	9	10	10	11	13	14	15
人口 (100万人)	13.7	13.9	14.1	14.3	14.5	14.8	15.0
1人あたりGDP (ドル)	631	746	739	786	883	951	1,017
実質GDP成長率 (前年比、%)	(10.2)	(6.7)	(0.1)	(6.0)	(7.1)	(7.3)	(7.5)
消費者物価指数 (前年比、%)	(5.9)	(19.7)	(▲0.7)	(4.0)	(5.4)	(2.9)	(3.0)
経常収支 (100万ドル)	▲ 424	▲ 820	▲ 398	▲ 410	▲ 475	▲ 1,038	▲ 1,607
貿易収支 (100万ドル)	▲ 1,269	▲ 1,584	▲ 1,477	▲ 1,564	▲ 1,903	▲ 2,456	▲ 2,958
外貨準備高 (除く金) (100万 <sup>ドル</sup> ) ◎	1,807	2,292	2,851	3,255	3,450	4,267	4,516
対外債務残高 (100万ドル) ◎	2,815	3,269	3,530	3,852	4,430	5,716	NA
為替 (リエル/ドル) *	4,056	4,054	4,139	4,185	4,059	4,033	4,027

### ミャンマーの主要経済指標

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
名目GDP (10億ドル)	20	32	37	50	60	60	NA
人口 (100万人)	57.5	58.4	59.1	59.8	60.4	61.0	61.6
1人あたりGDP (ドル)	351	546	624	829	994	989	NA
実質GDP成長率 (前年比、%)	(12.0)	(10.3)	(10.6)	(9.6)	(5.6)	(7.6)	NA
消費者物価指数 (前年比、%)	(20.9)	(17.9)	(1.5)	(7.7)	(5.0)	(1.5)	(5.5)
経常収支 (100万ドル)	1,266	1,262	1,093	1,961	▲ 1,576	▲ 1,211	▲ 1,582
貿易収支 (100万ドル)	2,801	3,026	2,647	3,551	273	793	609
外貨準備高 (除く金) (100万 <sup>ドル</sup> ) ◎	3,089	3,717	5,252	5,717	7,004	6,964	NA
対外債務残高 (100万ドル) ◎	7,250	7,136	7,702	7,789	7,770	2,563	NA
為替 (チャット/ドル) *	5.62	5.44	5.58	5.63	5.44	640.65	933.57

### バングラデシュの主要経済指標

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
名目GDP (10億ドル)	80	92	102	115	124	129	154
人口 (100万人)	142.6	144.7	146.7	148.6	150.6	152.7	154.7
1人あたりGDP (ドル)	563	637	700	775	825	850	999
実質GDP成長率 (前年比、%)	(7.1)	(6.0)	(5.0)	(5.6)	(6.5)	(6.5)	(6.0)
消費者物価指数 (前年比、%)	(7.2)	(9.9)	(6.7)	(7.3)	(10.9)	(8.7)	(6.8)
経常収支 (100万ドル)	936	702	2,272	3,470	▲ 1,892	▲ 659	2,397
貿易収支 (100万ドル)	▲ 3,458	▲ 5,330	▲ 4,710	▲ 5,155	▲ 9,935	▲ 9,320	▲ 7,010
外貨準備高 (除く金) (100万 <sup>ドル</sup> ) ◎	5,183	5,689	10,219	10,564	8,510	12,031	17,564
対外債務残高 (100万ドル) ◎	21,373	22,952	24,619	25,752	27,326	26,130	NA
為替 (タカ/ドル) *	68.87	68.60	69.04	69.65	74.15	81.86	78.10

### パキスタンの主要経済指標

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
名目GDP (10億ドル)	144	147	153	167	204	207	213
人口 (100万人)	162.9	166.4	169.9	173.5	177.1	180.7	181.7
1人あたりGDP (ドル)	934	908	951	1,006	1,195	1,188	1,218
実質GDP成長率 (前年比、%)	(5.5)	(5.0)	(0.4)	(2.6)	(3.6)	(3.8)	(3.7)
消費者物価指数 (前年比、%)	(7.8)	(12.0)	(17.0)	(10.1)	(13.7)	(11.0)	(7.4)
経常収支 (100万ドル)	▲ 6,878	▲ 13,874	▲ 9,261	▲ 3,946	214	▲ 4,658	▲ 2,496
貿易収支 (100万ドル)	▲ 9,711	▲ 14,970	▲ 12,627	▲ 11,536	▲ 10,516	▲ 15,765	▲ 15,431
外貨準備高 (除く金) (100万 <sup>ドル</sup> ) ◎	14,044	7,194	11,318	14,346	14,528	10,242	5,156
対外債務残高 (100万ドル) ◎	42,006	49,524	56,340	63,152	65,125	61,867	NA
為替 (パキスタンルピー/ドル) *	60.74	70.41	81.71	85.19	86.34	93.40	101.63

(注) \*印：期中平均値、◎印：期末値。貿易収支は国際収支ベース。

ミャンマーの名目GDP、実質GDP成長率、一人あたりGDP、対外債務残高は年度（4月～翌年3月）ベース。

為替相場は2011年までSDRに対する固定相場制の下での公定レート、2012年4月に管理フロート制へ移行。

なお、名目GDPおよび一人あたりGDPは、チャット建て公表値をIMF経済見通し上の市場レートでドル換算したもの。

バングラデシュとパキスタンの名目GDP、1人あたりGDP、実質GDP成長率、経常収支、貿易収支は年度（前年7月～6月）ベース。

(資料) ADB、IMFなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：経済調査室 土屋 祐真 (yuuma\_tsuchiya@mufg.jp)  
シンガポール駐在 中村 逸人 (hayato\_nakamura@sg.mufg.jp)  
                                剣持 未来子 (kemmochi@sg.mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページ <http://www.bk.mufg.jp> でもご覧いただけます。